

電波天文分野将来計画検討ワーキンググループ(WG)進捗報告 6

2023年5月24日 電波天文分野将来計画検討 WG

○第6回 電波天文分野将来計画検討 WG 会合

日時：2023年5月24日（水）16:00~18:00 (Zoom)

参加者（敬称略）

WG：赤堀、（泉）、江草、大西、（久野）、河野、小嶋、（坂井）、高橋、田村、新沼、秦、藤沢、（百瀬）、（渡邊）

- 文科省のロードマップ作成：応募を開始した。
 - 宇電懇として対応することはない。
 - 大型計画の提案者が各自応募するが、その際コミュニティのバックアップがあることを示すことになるだろうと思われる。
 - 以前のマスタープランとは求められている書類が異なり、かなり綿密な計画が必要となる。
 - SKA は提出予定で準備を進めているが、提出母体は未定。（2020年は名古屋大学から提出した）
 - NINS/NAOJ は TMT を提出予定。その場合、電波の計画も推して欲しいと要求するか？は議論すべきかも。→ 計画提案者が希望する提出母体によっては、宇電懇として該当機関（例えば天文台）に交渉・相談することはできるのでは。
 - ngVLA、南極望遠鏡は？
 - このロードマップに出さないとどうなる？→2~3年の範囲で予算化の対象にならないのでは。連続して出さないことの影響はわからない。
 - 宇電懇の運営委員として状況は把握しておきたいので、提出した場合には報告してほしい。
- ロードマップ・まとめ資料原案
 - 今期の活動（現状の計画）のまとめとしてコミュニティと共有すると良い
 - 既存計画（NRO、ASTE）のマイルストーンの把握、将来計画の検討も重要。既存の計画と将来計画の接続性も示したい。観測周波数で並べる？
 - 技術的な観点を入れるべきか？→各観測計画から「鍵となる技術」を挙げてもらうと良いのでは
 - サイエンストピックの分け方が難しい。各プロジェクトの強み（特徴）を書くと良いのでは。（お互いの関係性まで示すのは難しいだろう）
 - 他の分野（波長）との関わりは示せないか？→大きな計画を入れるのは重要だが、どこまで含めるべきか？（すばる2、TMT、JWSTも？）X線・ガンマ線やニュートリノ・重力波も代表的な計画は入れると良さそう
- 今後の進め方：少人数で議論して河野さん作の図を update する
 - 将来計画の情報は各計画の提案者に依頼
 - その他、とりまとめとして大西・新沼・江草が参加
 - ALMA の情報については、大西さんから問い合わせる
 - （NRO・ASTEについては、NAOJの意向というよりユーザーがどれだけ使いたいと思っているかが重要）
- 次期への引き継ぎ
 - 前回の MP2023 の推薦内容
 - これから作成する、ロードマップ線表
- 次期 WG のメンバー
 - 現メンバーの任期は 2023/5/31。継続を基本とするが、現メンバーから追加提案があれば運営委員会に連絡してほしい。

- MPのような具体的なチャージは無いので、自発的な活動になる。
- ryunetに案内を流して推薦があれば受け付ける？人数に上限は必要だろう。→運営委員会で議論する
- 3ヶ月以内を目安に次のWGを開始したい
- WG活動報告をryunetに？
 - 前回・今回の活動報告をあわせて流す（大西さんからのメール参照）
 - 宇電懇ニュースにも掲載したい。内容については別途相談する。